

全員協議会次第

令和 4 年 3 月 2 3 日

全員協議会室 9 : 2 8 ~

1. 開 会 (9 : 2 8)

郡司事務局長

2. 挨拶

小松議長

3. 協議事項

(1) 議案第 2 号 令和 3 年度三芳町一般会計補正予算 (第 1 3 号) 給与費明細書の訂正について

4. その他

5. 閉 会 (9 : 5 7)

山口副議長

令和4年3月23日(水)

全員協議会に出席を求めた者の職氏名

出席議員

議員 久保健二
議員 吉村美津子
議員 桃園典子
議員 林善美
議員 落合信夫
議員 本名洋
議員 細谷光弘
議長 小松伸介

議員 鈴木淳
議員 内藤美佐子
議員 細田三恵
議員 菊地浩二
議員 増田磨美
議員 井田和宏
副議長 山口正史

欠席議員

なし

説明者

財政デジタル推進課長 西島脩平

全員協議会に出席した事務局職員

事務局長 郡司道行

事務局書記 有田有希

◎開会の宣告

○事務局長（郡司道行君） それでは、ただいまより全員協議会を開会いたします。

（午前 9時28分）

◎開会の挨拶

○事務局長（郡司道行君） 開会に当たりまして、小松議長よりご挨拶をお願いいたします。

○議長（小松伸介君） 皆様、おはようございます。本日は急遽全員協議会ということで早朝よりお集まりいただきまして、大変にありがとうございます。また、2月28日から開会いたしました3月定例会も、今日で閉会日ということで、皆様の本当にご協力のおかげでスムーズに予定どおり行ってこられたかなというふうにも思っております。本当にまだまだコロナの感染の拡大がなかなか収まらない中で、3月定例会ということで、本当に当初はいろいろな心配があったのですけれども、本当に皆様のおかげで順調に来られたかなというふうに思っております。本当にありがとうございます。

また、本日は全員協議会ということで、財政デジタル推進課長から説明がございましてけれども、聞きたいことは全員聞いていただいて、しっかりと協議してまいりたいというふうに思っております。

それでは、協議事項でございますけれども、皆様の慎重審議お願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

○事務局長（郡司道行君） ありがとうございます。

◎議案第2号 令和3年度三芳町一般会計補正予算（第13号）給与費明細書の訂正について

○事務局長（郡司道行君） それでは、協議事項に移りたいと思います。

進行につきましては、議長、よろしくお願いいたします。

○議長（小松伸介君） それでは、まず、飲料水の持込みと飲料の許可をいたしたいと思います。

それでは、協議事項のほうに移らせていただきます。

（1）、議案第2号 令和3年度三芳町一般会計補正予算（第13号）給与費明細書の訂正についてということで、財政デジタル推進課長のほうからご説明をお願いいたします。

財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） おはようございます。着座にて失礼させていただきます。

協議事項、議案第2号 令和3年度三芳町一般会計補正予算（第13号）の給与費明細書の訂正についてということで、ご説明をさせていただきます。

さきにご議決いただきました議案第2号 令和3年度三芳町一般会計補正予算（第13号）について、給与費明細書の金額に誤りがございました。大変申し訳ございませんでした。内容につきましては、配付させていただいた正誤表に基づき説明をさせていただきます。

まず、予算書の38ページに当たるところになりますが、給与費明細書の2、一般職のうち、（1）、総括でございます。職員手当等の補正後の金額が1,931万6,000円となっていたところ、正しくは6億4,940万5,000円

でございます。これにより補正前、補正後の比較は705万9,000円の減となりまして、給与費の計は12億8,648万6,000円から19億1,657万5,000円に、比較のほうは6億6,061万3,000円の減から3,052万4,000円の減に、合計は16億4,145万1,000円から22億7,154万円に、比較は6億6,735万8,000円の減から3,726万9,000円の減に修正となります。

続きまして、予算書で言うところの39ページのア、職員（会計年度任用職員を除く）でございますが、職員手当等の補正後の金額が1,931万6,000円となっていたところ、正しくは5億9,903万8,000円でございます。これにより、補正前、補正後の比較は35万5,000円の増となりまして、給与費の計は10億683万4,000円から15億8,655万6,000円に、比較は5億8,074万5,000円の減から102万3,000円の減に、合計は13億2,271万7,000円から19億243万9,000円に、比較は5億8,139万1,000円の減から166万9,000円の減に修正となります。

最後に、40ページにありますイ、職員（会計年度任用職員）でございますが、職員手当等の補正後の金額が1,931万6,000円となっていたところ、正しくは5,036万7,000円でございます。これにより補正前、補正後の比較は741万4,000円の減となり、給与費の計は2億9,896万8,000円から3億3,001万9,000円に、比較は6,055万2,000円の減から2,950万1,000円の減に、合計は3億3,805万円から3億6,910万1,000円に、比較は6,665万1,000円の減から3,560万円の減に修正となります。

以上が修正箇所のご説明となります。よろしくお願ひいたします。

○議長（小松伸介君） ご説明ありがとうございました。

では、ただいまの説明に対しまして、ご質問等あれば、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。
本名議員。

○議員（本名 洋君） 本名です。

ご説明ありがとうございました。議運ではこのような形で全協での説明ということで決まったのかもしれませんが、そういうことは吉村議員から聞きましたけれども、私、議運のメンバーではありませんし、ちょっとそもそものところで、こういう予算の金額が違っていたというところで、本来であれば議場のほうで説明すべきであったのではないかなと思うのですけれども、その点どのようにお考えなのか、お伺いしたいと思います。

○議長（小松伸介君） デジタル課長に聞くこと……

本名議員。

○議員（本名 洋君） 本名です。

それは執行部としての意向もあったと思うので、財政デジタル課長としてそういうお気持ちはなかったのかどうか、お伺いしたいのですが。

○議長（小松伸介君） 議運の委員長に……

○議員（本名 洋君） では、議運の委員長がお答えいただけるのであれば、お願いします。

○議長（小松伸介君） 菊地議員。

○議員（菊地浩二君） 菊地です。

議会運営委員会の委員長として、今の質問に対して答弁になるのかどうか分かりませんが……

まず、この場を設定いたしましたのは、あくまで議会の意思として、判断として設定をしました。それに執行部に関しましては、どっちがいいとか、そういう話はないです、公式には。なぜこのような形にしたか

という、もう既に議決してしまった議案であるということと、そういったことも含めて、議場でやるよりは、議場でもしやっただとして、質問とかそういうのが受けにくくなってしまいうということもあって、逆に全員協議会のほうが質疑とかもやりやすいのではないかということで、昨日議会運営委員会のほうで協議した結果、全員協議会で報告をしてもらうということになりました。

以上です。

○議長（小松伸介君） 本名議員。

○議員（本名 洋君） 分かりました。では、間違いがあるのは仕方ないことではあるのですが、こういう金額というところで、大事な部分で、なぜこのような間違いが発生したのか、その理由をお伺いいたします。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） 西島です。

今のご質問でございますけれども、言い訳になってしまうのかもしれませんが、予算書作りに当たっては、こちらの給与費明細に関しては、総務課と財政デジタル推進課のほうで確認しております。当初の校正に回ってきた原稿では正しい金額になっておりました。ですが、実はこの前の37ページのほうに特別職の給与費明細があるのですが、今回議員さんのほうの期末手当を一部ちょっと予算のほうで減額させていただいたのですが、その修正が漏れておまして、それに気づいて金額の訂正を行いました。ただその訂正を行った際に、理由は定かではないのですが、セルが複数選択された状況になっておまして、今回誤った1,931万6,000円というのが、議員さんの減額後の期末手当の予算額なのです。その金額に修正した際に、ほかのセルにもその数字が飛んでしましまして、要は、本来正しかった数字が正しくない数字に変わってしまっていたと。

我々としては、修正指示した内容が正しく反映されていたことは確認はいたしましたけれども、もともと正しかった数字が変わっていないかどうかまでの確認ができていなかったということが経緯でございます。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

久保議員。

○議員（久保健二君） 久保です。おはようございます。ご説明ありがとうございます。

大体の内容というのは、今説明いただいたので、理解はできたのですが、1点だけ、これ今回に限らず言えることかとは思いますが、あと、今までも委員長報告等で執行側のほうにお願いをしてきた経緯があると思うのですが、今予算特別委員会の中でも、かなりやはり説明書の中での数字の間違いというのがあったと思うのです。正誤表等で修正はしていただけたのですが、一つ確認させていただきたいのが、そのような、今回総務課とあと財政デジタルのほうで、今回の件に関してはチェックしたというお話はありましたけれども、全ての課においてのチェック体制というのが、どのような形で今チェックが行われているのかだけ、確認させていただいてよろしいでしょうか。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） お答えいたします。

予算書の、事業別も含めてですけれども、校正に関しましては、各課がまず原案を入力して、それを出力したものを、校正という形で各課に確認をお願いしております。基本的なその計算式ですとかというのは、実は財政デジタル推進課のほうでも、一時的に会計年度任用職員の方をお願いして、検算なんかもしているところがございます。ただ修正の過程で、直した際に直し間違えたりですとか、あとは今回もありませんけれども、微妙な表現のところの誤り、それから積算のそもそもの人数だけしか書いていないところが誤っていたケースに関しましては、検算では拾い切れないところがございます。

私のほうでも、なるべく全て見るようにはしているのですけれども、なかなか一個一個の検算をしていると、正直議会送付にも間に合わないようなスケジュールになっていまして、その部分は、まずは一時的には作成をしている各担当課のほうでのチェックが最も大事になってきますし、そこを我々としてもお願いをしているところになってございます。

ですので、ダブルチェックではないですけれども、そこがどこまで行き届いているかと言われると、なかなか難しい部分がありまして、今回のような幾つかの修正が生じたような次第になっております。それが現状でございます。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） 時間的なこともあります。職員数というところでの問題というか、課題もあると思うのですが、やはりこれ毎回議会側からお願いしていて、それが議会以降というか、それが修正されて改善がされているかという、やはり今回もそうですけれども、数字の間違いというのが毎回毎回起きているような状況なので、なかなか人数、また時間で厳しいかとは思いますが、そのチェック体制というのを、見直しというのを、今後のことも考えるとお願いできればなというふうに思うのですが、この今説明いただいた件だけに限らず、ほかの課でも今回も起こっていますので、その辺もう一度執行側でも協議していただければと思いますが、いかがでしょう。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） お答えいたします。

議員さんのおっしゃるとおりでございます。基本的にはやはりチェック体制を充実していくしかない、そういった中で各担当課も通常業務がある中で確認になってしまっている、片手間の部分があるのではないかと如果说、それは否定し切れない部分は確かにございます。ですので、直近で言えば、次の9月議会に出す決算の事業別明細書とかを作成するときもありますので、これまでの経緯で誤った箇所を改めて整理して、こういったところを特に注意してくださいですとか、そういったところを、まず作成をお願いする段階で当課からも改めて周知を図っていくようなことはやっていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 内藤議員。

○議員（内藤美佐子君） 内藤です。説明ありがとうございました。

先ほどの説明を聞いておまして、議員の給与費明細のところの数字を入れ替えたときに、ほかのところのセルにまでその数字が飛んだというような説明だったと思うのですけれども、その数字が入れ替わったその根本原因みたいなものについては、しっかりと突き止められたのかどうか、お伺いします。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） お答えいたします。

要因に関しましては、正直突き止め切れていないところでございます。複数のセルが選択されていたことによって、同じ数字が入ってしまったであろうことは推測できるのですが、どうしてその時点でそのセルが選択されていたのかどうかというのは、通常であればこういうことは私としても想定しがたいので、当時修正を行った担当者のほうにも確認していたのですが、何でこのセルだけが既に選択されていた状況だったのかどうかというところまでは、突き止めていないところでございます。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 内藤議員。

○議員（内藤美佐子君） 私自身、職員の皆様が行っているこの行政事務というのですか、こういうものに、ちょうど議員になった頃からIT化が進んで、パソコンの導入等が進んできて、そのときに事務の効率化ややはり人的なミスの発生を極力防ぐために、このIT化みたいなものは進んでいくのだというふうに、私自身もそのように考えていました。しかしながら、今回のこのたくさんセルが選択されて、こういうミスが起きたということは、きちっと原因を調べておかないと、またこういうミスは知らないところで起きてしまうというのがないかなというふうに、ちょっと心配するところで、特にIT化をこれからどんどんデジタルフォーメーション等進めていくわけなのですけれども、機械任せにしたらだめではないかという議論になってしまうと、それはまた効率化とはかけ離れていくのだなというふうにも思います。できれば今後このミスが起きた原因を、しっかりと突き止めていただきたいと思いますが、その辺についていかがでしょうか。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） 議員さんおっしゃるとおりでございまして、可能な限り、要は、原因が分かりませんと、再発防止もなかなか考えづらいとは思っておりますので、現状考えているのは、正しい数字が正しいまま残っているかをもう一回確認するくらいで、今のところ対策は考えているのですが、もうちょっと過去を振り返って、どうしてそうなったのかという経緯は、可能な限り追及していきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 吉村です。

この補正予算を審議する前に、その当日ではなくて、もっと前日だったか、その前だったか、審議する前に、ちょっとこれだけの職員の手当と合計とかがあまりにも金額が大きいので、これはちょっとおかしいなということで、総務課長にはそういうことでちょっと数字が違うのではないかということで、なぜこうなるのかというふうに問合せしたのですが、議員団で。そのときの回答が、会計年度任用職員の採用が難しかったからということで、私もそれ以上求めなかったのですが、そういう面では総務課長との連携というのはどういうふうに、ちゃんとできているのかどうか、お伺いします。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） お答えいたします。

今のお問合せの件でございますけれども、私のほうには情報としてはいただいております。というのも、減額が大きい理由と言われれば、確かに会計年度任用職員の採用が思ったようにできなかったからというところで、説明自体は間違っておりませんし、減額が大きいのではないかという話も、今回、要は、誤った数字を正しく置き直したとしても、その減額の大きいというのは、指摘としては間違っておりませんので、そういったところでは数字が誤っているというふうにそもそも考えなかったことで、お互いの情報共有はしていなかったというところがございますので、そこでちょっと疑問に思ったりとかあれば、違ったのかもしれないのですけれども、今回に関しては数字の減額が大きいのではないかという趣旨と、減額が大きい理由の説明、それ自体は誤りがなかったと思っておりますので、そのまま来てしまったというところが現状だと考えております。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 私もここで発言するのはどうかと思って、しないように思っていたのですけれども、やはりいろいろ質問が出てきましたので、ちょっとどういうことかなと思っていたのですけれども、実際には職員のこういった手当等が減るということについては、私たちは賛成しませんので、ですからそういう部分では金額が多く引かれてしまうということは、これは大きい問題だなと思って考えていたのですけれども、そういったことというのは当然考えての数字を出していくわけだから、大きい金額の差があるということについては、そういったところでは気づいていていいのかなと思いますけれども、その点もう一度お伺いします。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） お答えいたします。

減額が大きいという部分に関しては、そもそもの予算を各課から上げてもらって、それを見ていく予算要求と、それから予算書を作る段階で見ているものと考えております。今回誤りがありましたのは、お出しした予算を別の資料として一覧にまとめる作業過程での誤りでございましたので、金額がそもそも大きい、減額が大きいというのは認識はしておりましたので、あまりなかなかその給与費明細書のほうまで思いが至らなかったという部分はあろうかと思っております。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 吉村です。

これで最後にしますけれども、おっしゃるように私たちも予算の中身は間違っていないわけなので、それについて見てきましたので、それについては賛成なので、大きくは取り沙汰されませんでしたけれども、この38、39、40ページの中の、職員のそういった手当等について金額があまりにも違い過ぎるから、これだけの多くの金額が減額になるのはおかしいということで、それで問合せしたのですけれども、それについて、ですから私たちも明細書の一般職とか、それから会計年度任用職員のそちらの説明において不思議に感じたので、それで問合せをしたのですけれども、ですから全体的なものに対しておかしいということは、出す限りにはそれを感じ取るのは当たり前だと思うのですけれども。

○議長（小松伸介君） 何を聞きたいのかがよく分からないのですけれども、質問にさせていただいてよろし

いですか。

吉村議員。

○議員（吉村美津子君） ですから、予算書の内容については間違っていないので、ただ、今言ったように、38、39、40ページのほうの給与費明細書のほうのそちらのほうが間違っていたので、私たちはそこを見て、この大きい金額というのは、そこまで職員に影響を及ぼすものというふうには捉えなかったもので、ですからここは、少し明細書の中で数字が大きくなっているのはおかしいのではないかということで、問合せをしたのですけれども、その辺について、ですからその明細書のほうの金額が大きい、あまりにも違い過ぎることについて、不思議を持たなかったのかということなのですからけれども、ごめんなさい、それは堂々めぐりになるかもしれないので……

○議長（小松伸介君） そうですね、もう終わった話なので。

よろしいですか、では。

○議員（吉村美津子君） そのときに気づいてもらえればよかったのかなということで述べているのですけれども。

○議長（小松伸介君） では、ご意見ということでよろしいですか。

〔「それでいいです」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） では、ほかにございますか。

山口副議長。

○副議長（山口正史君） 山口です。

先ほどからお話を伺っていると、複数のセルを選択したとかいう発言がありましたけれども、ということは想像するに表計算ソフトを使って手入力していると、私そこに一番問題があると思っているのです。これ補正だろうが、何だろうが、予算だろうが、全部定型フォーマットです。何でこれが自動で出力までされないのか、そこで手入力するということがあるから間違いが起こるのであって、根本はそこを解決すべきだと思うのですが、いかがでしょう。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） お答えいたします。

ご指摘のように、システムから出力できれば、もちろんこういった誤り、そもそもシステムの入力自体が間違っていなければ起こらないとは考えておりますけれども、なかなかそこまでシステムが対応できていないのが現状でございますし、私の知っている団体と言うとおかしいかもしれないですけれども、そのほうでも、やはりこの給与費明細書自体はなかなかシステムからは作れなくて、エクセルで作っているというのが実情でございます。

仮にこれをシステムで作るとなると、恐らくそれなりの金額といたしますか、かかってくるだろうかと思います、システム改修とか調達のほうに。少なくとも今ご提供いただいているベンダーのほうでは、そういったものは対応してございませんし、今後システムの調達なり、入替えなり、開発なりがあったときに、もしこういったものが収支明細書のほうまでシステム化できるのであれば、そういったところも選択肢には考えたいとは考えておりますけれども、現状ではなかなか難しいというのが実情でございます。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 山口副議長。

○副議長（山口正史君） その金額がかかるというのはよく分かります。ただもう一つ考え方としては、フロントエンドを設けて、要するにシステムのほうの大本を改修するのではなくて、データそのものを受け取るフロントエンドでこれを作り出すという仕組みであれば、そんなにはお金はかからないと思うのです。これを毎回毎回職員が入れて、チェックをして、それは間違えるのも当たり前というか、いつかは間違えるだろうと思うので、そこをぜひ働き方改革も含めてデジタル化ということで進めていただきたいと思います。意見です。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

細谷議員。

○議員（細谷光弘君） 細谷です。

再度確認なのですが、この3ページにわたって間違えた部分というのは、1,931万6,000円というところが3か所変わったために、あとは自動計算で全部の数値が変わってしまったということによろしいのでしょうか。

○議長（小松伸介君） 財政デジタル推進課長。

○財政デジタル推進課長（西島脩平君） 議員おっしゃるとおりでございます。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） では、ないようでしたら、以上で閉じますが、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） では、質問ないようですので、協議事項（1）につきましては、以上とさせていただきます。

財政デジタル推進課長、ありがとうございました。

暫時休憩いたします。

（午前 9時56分）

○議長（小松伸介君） 再開いたします。

（午前 9時56分）

◎その他

○議長（小松伸介君） では、協議事項、全て終わりましたので、4のその他に移りますが、皆様から何かございますでしょうか。

鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） 定例会、本日予定どおり終わった場合は、掲示板のポスターのはがすのを、気づいたのでやっておいたほうがいいかと思えます。

○議長（小松伸介君） 山口副議長から後でメールが行くそうです。よろしく願いいたします。

事務局もよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） では、私ありませんので、以上で本日の全員協議会は終了とさせていただきます。
事務局にお返しいたします。

◎閉会の宣告

○事務局長（郡司道行君） 大変お疲れさまでした。

閉会につきましては、山口副議長、よろしくお願ひいたします。

○副議長（山口正史君） 本会議中で、今日は最終日ということでもありましたが、皆さんお疲れのところ早朝からありがとうございました。今日の本会議が迫っておりますので、挨拶はこの程度にさせていただきます。

大変お疲れさまでした。

（午前 9時57分）